

きりとくだより



群馬県立桐生特別支援学校
学校通信 第12号 R7.3.10

「きりとく八木節」を作りました

桐生の祭りといえば、「桐生八木節まつり」が有名です。お祭りを見学したり、お囃子や踊りに参加したりする方も多いことでしょう。桐生特別支援学校に赴任して、桐生にお住いの皆様、地元を大切にしている様子、伝統や文化を誇りに感じ、それを盛りあげようとする心意気を強く感じました。本校では、春に地域の方々と八木節交流を行っています。これは本校の特色づくりの一つです。伝統文化に親しみ地域の祭りに参加して一緒に踊れるようになって欲しいと考えています。しかし、2年間行ってみて感じるのは、歌詞の難しさです。八木節交流の時に何人もの子どもたちが樽をたたいて、「ハアア〜」と歌い出すも、そこから先が続きません。子供に歌いやすい歌詞があればなと思い、「きりとく八木節」を作ろうと考えました。とりあえず4番まで桐特の生活を織り込んで作ってみました。この「きりとく八木節」は、上栄会の皆様に協力をお願いして歌ってもらいDVDにしたいと思います。令和7年度の運動会では、「きりとく八木節」をみんなで踊りましょう。そして、5番6番と続けていきましょう。

一番 桐特自慢を 紹介します
観音山の ふもとに立つ
長い坂道 のぼった先の
もとは菱中の 大きな校舎
桐生の街を 一望できる
オンリーワンを みんなでめざし
明るく仲良く ぼくらの学校



三番 宿泊学習 野活にとまり
事前学習で 役割決めて
持ち物準備だ リュックは重い
ほうのき山で 登山したら
室内レクで 団結強め
夜はみんなで 天狗を呼んで
キャンドルファイヤ 願いの炎

二番 毎朝元気に 家を出ます
いってきますと カバンをしょって
スクールバースで 登校すれば
着替え 掃除に ジョギング 勉強
朝の会では みんながそろい
予定の確認 献立発表
今日も一日 頑張るぼくら



四番 みんな楽しみ 交流学習
菱小 梅南小 清流中と
地域の仲間と いっしょに学ぼう
地域の人にも お世話になって
八木節おどりに すいとん交流
和気あいあいと 交流をふかめ
地域で育つ ぼくらの学校

「大いちょう」完成間近

毎年発行している「大いちょう」の校正原稿がまわってきました。児童生徒一人一人の頑張りが伝わる写真がたくさん掲載されています。今から完成が楽しみです。卒業学年の保護者の皆様には、お子さんに向けたメッセージをいただきありがとうございます。この「大いちょう」について学校にある資料を調べてみると、一番古いもので昭和44年度のものがありました。本校は昭和37年4月に「桐生市立第二養護学校」として中学部3学級で、桐生市菱町5丁目に開校しています。最初は中学生だけの学校でした。そのころから「大いちょう」というタイトルで受け継がれています。当時の卒業文集には、右の巻頭詩が掲載されています。校長先生の文章には、「風はさみどり〜」で始まる校歌が完成したこと、作業学習で歩道用平板ブロックの製作が取り入れられたこと、修学旅行が3日間で伊豆箱根であったことなどが書いてありました。生徒の文章には、榛名高原学校で行われた宿泊学習でカッターを漕いだこと、修学旅行で訪れた横田基地、上野動物園、羽田飛行場、宿泊地となった箱根で友達と楽しく過ごした様子などが書かれていました。

いつもいやさしく
学舎に庭の心に育つ
雨風雪に 大銀杏
強く生き抜く 叩かれようとも
みんな仲良く 君僕あなた
伸びゆく 手を取り合って
中学生 伸びゆく